

はるかな尾瀬

— 目 次 —

- 02 リレーエッセイ ～水辺林の生態～
- 04 尾瀬の花ごよみ
- 06 現地情報
 - ①原をわたる風だより
 - ②おこじょだより
- 08 尾瀬ボランティア情報
- 09 TOPICS
- 10 尾瀬保護財団からのお知らせ



2014.7 vol.24
(公財)尾瀬保護財団

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



この花の名前は？ (答えは p.5 にあります)

・ *初夏の尾瀬で、探してみましよう* ・

◆ リレーエッセイ ◆
「水辺林の生態」
 崎尾 均

水辺は私たちの心に安らぎを与えてくれる。旅先の観光地のポスターや絵葉書の中には必ずと言っていいほど、湖、溪流、滝などの水辺がそれぞれを取り巻く森林とセットになって配置されている。このような水辺林は河川生態系にとって重要な役割を果たしている。魚類の生息環境を作り出し、水質を浄化し、生物多様性の維持に貢献している。また、私たち人間にも多くの恵みをもたらしてくれる。水産資源、水、景観、などなど。



▲水辺林の生態学的機能(崎尾(2002))

しかし、水は昔から多くの災害を人間にもたらしてきた。台風や梅雨時の豪雨によって、上流域では土石流や山の崩壊が生じ、中流域や下流域では氾濫が幾度となく発生してきた。近年では、過去の降水量からは予想もつかないゲリラ豪雨が発生し、台風やハリケーンも大型化しているようである。これらの自然災害は人間にとっては厄介者であるが、自然の水辺林にとっては、更新を行っていく上で必要なイベントとなっている。上流域の山地溪流に分布する水辺林を溪畔林と呼んでいる。ここに分布する多くの樹木はこれらの自



▲美しい景観を備えた上高地の山地河畔林

然の攪乱によって破壊されるが、その時に生じた場所で種子から発芽を行って新たな世代が生まれている。カツラなどのように数十年から数百年に一度起こる大規模な自然攪乱が必要な樹種も存在するし、毎年春に生じる融雪洪水はヤナギ類の更新場所を作り出している。



▲2011年伊南川の洪水で被害を受けたヤナギ林

これらの水辺林を構成する樹木は、流域の上下流で異なるとともに、気候帯によっても様々である。本州の冷温帯の河川の上流域では、トチノキ、

サワグルミ、カツラを優占樹種とする溪畔林が分布し、太平洋側になればシオジが加わる。中流域から下流域にかけてはヤナギ類やハンノキからなる河畔林が分布する。これらの樹木の共存に關しては、おのおのの樹木が生活史の各段階で、土壌、光、水などに対する環境適応が異なっていることが原因とされている。例えば大型種子のトチノキは落下後、動物による二次散布で地下に埋められる必要があるが、カツラは微細な無機質の土壌で発芽する。また、サワグルミは発芽後、比較的強い光を必要とし、そのような場所では他樹種を圧倒するような成長速度を示す。また、水に対する反応も異なり、シオジは芽生えが二十日間の滞水に耐えることができる。ミシシッピ川流域に分布するヌマスギは樹木の一生の大部分が滞水環境にある。

近年、これらの水辺には外来種が侵入してきて大きな問題となっている。その代表格がハリエンジュ（ニセアカシア）である。もともと北米原産でヨーロッパを経て日本にもたらされた。上流域の緑化樹種として広範囲に植栽された。その後、度重なる洪水によって種子が下流に流され定着して下流域に分布を広げた。水平根から発生する根萌芽によるクローン成長によってその林分を急速に拡大させた。そして現在、河川管理上の大きな問題となっている。写真のヌマスギ林周辺でも、大型のハリケーン「カトリーナ」の襲来後、

外来樹種のナンキンハゼやセンダンが侵入して在来種の更新を阻害している。



▲ミシシッピ川流域のヌマスギ林

河川をめぐる問題は、流域規模で起きている。上流域では戦後の拡大造林とその管理放棄による公益的機能の低下やダム建設による水辺環境の劣化、中流域では河川敷がゴルフ場、農地、スポーツ施設となり、下流域は都市化が進み水辺そのものが消滅している。ダムによって上流から下流、つまり森と海の生態系が断絶し、堤防によって陸域と水域が分断し河川は巨大な放水路と化してい

る。河川法が改定され自然再生法や外来種法などが制定され、それに基づき「自然環境に配慮した」事業が展開されている。しかし、これらの事業の中には目的とは異なった自然環境に害を与えているものも見られる。自然環境の再生においては、我々人間は手を添える程度で、できるだけ自然の復元力を利用していくことが望ましい。

◆◆ 筆者紹介 ◆◆

崎尾 均（さきお ひとし）

- ・新潟大学農学部教授（佐渡演習林）
- ・専門は森林生態学
- ・著書は「水辺林の生態学（共編著）・ニセアカシアの生態学（編著）・樹に咲く花（共著）」など
- ・「荒川流域の水辺林の生態と管理に関する研究」で第16回尾瀬賞を受賞

花 ご よ み * * *

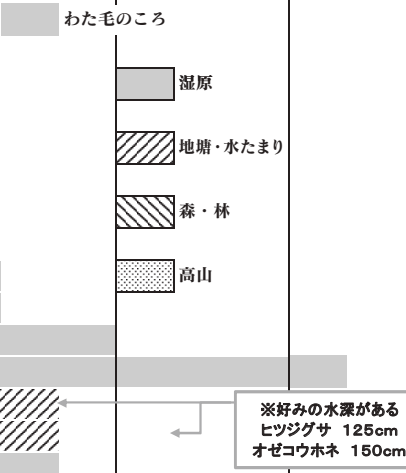
お花の名前	お花の色	5月	6月	7月	8月	9月	10月
サゼンソウ	茶色						
ワタスゲ	黄色			わた毛のころ			
ミズバショウ (中田代)	白色						
(研究見本園)							
(尾瀬沼)							
リュウキンカ	黄色						
タテヤマリンドウ	青紫						
ショウジョウバカマ	赤紫						
ミネザクラ	ピンク						
ミツガシワ	白色						
サンリンソウ	白色						
ズミ	白色						
オオバタチツボスミレ	青紫						
オゼヌマタイゲキ	黄色						
ヒメジャクナゲ	赤紫						
ミツバオウレン	白色						
シナノキンバイ	黄色						
キジムシロ	黄色						
ミヤマキンポウゲ	黄色						
チングルマ	白色	※花後は羽毛状の果実となる					
レンゲツツジ	赤橙						
ハクサンチドリ	赤紫						
ツルコケモモ	ピンク						
ギョウジャニンニク	白色						
イワカガミ	赤紫						
コバイケイソウ	白色						
トキソウ	ピンク						
ウラジロヨウラク	ピンク	※別名ツリガネツツジ					
クロバナロウゲ	茶色						
カキツバタ	青紫						
ニッコウキスゲ	黄色	※尾瀬の夏の主役					
キンコウカ	黄色	※秋にはオレンジ色に染まります					
カキラン	黄色						
オオバギボウシ	青紫	※群馬側では至仏山で多く見られます					
ミゾソバ	ピンク	※溝に生えるソバに似た草という意味					
オゼコウホネ	黄色						
ヒツジグサ	白色	※名の由来のとおり、かなりお寝坊の花					
ナガバノモウセンゴケ	白色	※足りない栄養素を昆虫などから補給する食虫植物					
コバギボウシ	赤紫	※別名ミズギボウシ					
トモエソウ	白色	※花びらが凹型にねじれてついている					
ミズオトギリ	ピンク	※別名ミズアキ					
コオニユリ	オレンジ	※花は8~10cmと大型					
ミヤマワレモコウ	赤紫	※雌しべが長く花から突き出ている					
サワギキョウ	青紫	※夏から秋にかけて主役を務める花					
オニシオガマ	赤紫	※花は4~5cmほどの長さ					
ヒメシロネ	白色	※葉の付け根に米粒程の白い花をつける植物					
ミズギク	黄色						
オゼヌマアザミ	青紫	※花軸に針状の総苞があり、葉にも刺がある					
チョウジギク	黄色	※別名クマガク					
アケボノソウ	白色	※名前由来は、花びらの斑点を夜明けの夜空に見立てたもの					
イワショウブ	白色	※花の茎が粘っている。別名ムシトリゼキショウ					
オオニガナ	黄色	※名のとおり大型で、ほぼ大人の視線ぐらいの高さになる					
ツリガネニンジン	青紫	※鐘型で先が5裂した花が下向きに咲く					
ウメバチソウ	白色	※小指の先ほどの小さな花をつける					
ミヤマアキノキリンソウ	黄色	※湿原を黄色に染める秋の花の代表選手					
オクトリカブト	青紫	※花は長さ3~5cm外側に曲がった毛がある					
エゾリンドウ	青紫	※尾瀬のシーズンラストを飾る花					

花の時期について

尾瀬ヶ原と尾瀬沼は標高差が 200m あります。このため、雪解けの時期も異なるため、花の開花時期も異なります。また、尾瀬ヶ原も中田代から雪解けが始まり、上田代、下田代へと進みます。ミズバショウの開花時期が異なるのもそのためです。

植物も水が好きなもの、それほどでもないもの、日向が好きなもの、苦手なもの、好みも千差万別です。この花暦も標準的な期間をのせましたが、場所によっては時期が少しづつ違います。

ぜひ当財団の HP で「最新の自然情報」から「今日の尾瀬」や「尾瀬情報」を参考にご覧下さい。また、「尾瀬情報」は地区ごとにバックナンバーがご覧いただけますので、尾瀬を訪れる時期の、昨年と同じ時期の風景も参考になろうかと思えます。ぜひご活用ください。



* * * 尾 瀬 の

お花の名前	お花の色	5月	6月	7月	8月	9月	10月
イワナシ	ピンク						
ウスバサイシン	緑色						
エンレイソウ	緑色						
ヒロハテンナンショウ	緑色						
マムシグサ	緑色	※花・実の形が特徴的					
キクザキイチゲ	白色						
オオカメノキ	白色						
ムラサキヤシオ	赤紫						
エゾムラサキ	青紫						
オサバグサ	白色						
ゴゼンタチバナ	白色						
ギンリョウソウ	白色						
ショウキラン	赤紫						
シャクジョウソウ	白色	※発見難度MAX					
イワイチョウ	白色	※イチョウの葉に似ています					
キヌガサソウ	白色	※傘のように葉を八方に広げます					
ハクサンシャクナゲ	白色						
マルバダケブキ	黄色	※葉はフキの葉に似ています					
ジャコウソウ	赤紫	※葉の付け根に筒状花を数個ずつつける					
ソバナ	青紫	※蕎麦菜と書くが蕎麦の実はなりません					
ツルリンドウ	青紫	※森林内の薄暗いところに生える。花よりも赤い実の方が目立ちます					
ミヤマキンバイ	黄色						
コケモモ	ピンク						
ホソバヒナウスユキソウ	白色	※エーデルワイスに近縁の植物					
タカネシオガマ	赤紫	※花の色が濃く至仏山で最もよく目に付く花					
ジョウシュウアズマギク	赤紫	※葉は暗紫色を帯び長短ふたとおりの毛が生えている					
クモイイカリソウ	白色	※開花期間が短く葉の形が面白。					
ジョウエツキバナノコマノツメ	黄色	※尾瀬で一番長い花の名前					
オゼソウ	黄色	※尾瀬の植物の中でもその貴重性はトップクラス					
ハクサンコザクラ	赤紫	※別名ナンキンコザクラ					
シブツアサツキ	赤紫	※葉や茎はネギ同様に中空になっている					
ミヤマウイキョウ	白色	※繊細な葉と純白の花とのコントラストが美しい					

※葉の下に花が咲くので見つけにくい。

※三枚葉、三枚弁

※茎の斑紋の有無で判別できます。

※葉緑素を持たず、腐生生活を営む植物。

	湿原
	地塘・水たまり
	森・林
	高山

尾 瀬 の 四 季

高山植物の宝庫としても有名な尾瀬では、現在、生育が確認されている高等植物だけでも900種類を超えます。植物の種類や希少種の多さだけでなく、動植物やそれらを取りまく地形的、気候的環境も含む生態系そのものが、学術的にも、自然の素晴らしさを伝えてくれる場所としても貴重です。

半年以上を多いたときには3～5メートルもの積雪に閉ざされる尾瀬の自然の中で、植物の多くは5月中旬から10月中旬ごろまでの約5ヶ月間に凝縮された短い春・夏・秋の間に、芽を吹き、花を咲かせ、実をつけます。

入山者の目を楽しませてくれる色とりどりの花々は、厳しくも豊かな尾瀬の自然が見せる横顔のひとつです。

撮影ワンポイント(葉も撮ろう)

尾瀬には多くの植物がありますが、似たような花もまたたくさんあります。「この花は何ですか」と聞かれることも多いのですが、花だけだと中々わからないものも多く、職員泣かせ…。

たとえばコオニユリとクルマユリ。花はよく似ていますが、葉の付き方がまるで違います。花のアップを撮ったあと、ぜひ全体の写真や葉の写真を撮ってください。自宅に戻って確認するときも、きっと手助けになると思います。

さらに、花の見分け方にも自信がついてくることまちがいない♪

表紙の答え ①イワカガミ ②ハクサンチドリ ③イワナシ ④トキソウ ⑤ショウジョウバカマ ⑥サワラン ⑦ヒメシャクナゲ ⑧ツルコケモモ

現地情報

原をわたる風だより 山の鼻ビジターセンターより

尾瀬に再び戻ってきて…

本年度もまた、尾瀬へ来ることができ、尾瀬山の鼻ビジターセンターの勤務となりました。

尾瀬が初めてというわけではありませんが、尾瀬ヶ原での勤務は初めての為、自然環境や動植物はもちろん、ビジターセンターの業務内容、自分たちの身の回りの生活面も、以前、勤務していた尾瀬沼ビジターセンターと大きく違います。

そんな右も左も分からない状況ゆえに思い悩んだり、落ち込むことも多々あります。



▲2014年5月28日 尾瀬ヶ原の夜明け—逆さ鏡—

そういう時は、夜明け前や夕暮れの尾瀬ヶ原をひとりゆっくり歩きます。すると、鳥の囀りやカエルの声、川の音色が心に染み入り、濁りなく透き通った池塘や過酷な環境で生きる花々の姿、そこに広がる光を見ると、無駄のない美しさでたゆみない命の躍動を目の前にして涙が流れます。



▲2014年5月28日 尾瀬ヶ原の夜明け—下ノ大堀川—

そして、尾瀬よりはるか遠くにいる家族や友人、お世話になった方々の「気を付けて、今年も頑張ってきてね」「や」「待つているよ。」などの暖かい声援や笑顔などが臉に浮かびます。

すると、「また、頑張ろう。」という気持ちになり、いつもの朝が当たり前のようになり始めます。

また、思い出せば、去年の尾瀬を降り

た冬、何故か山が恋しくて、近くの小高い山に上がった時、はるか遠くにある尾瀬に思いを馳せながら海の向こうを眺めていました。そうしているうちに、尾瀬で再び勤務が決まった時は、故郷を離れるのが寂しい反面、また、尾瀬に戻ることでできることを喜んでいる自分がいました。気が付けば、いつの間にか、私にとって尾瀬は第二の故郷になっていたのです。

しかし、木道や湿原の中にゴミが落ちていたり、散らかったトイレの個室、湿原の中に入る人や他人の迷惑を考えずに好き勝手に行動している人々を見ると、この上なく悲しく、深く胸が痛みます。

多くの人々と美しい尾瀬の自然環境に支えられながら、今日一日を過ごせることに感謝し、この素晴らしい尾瀬がいつまでも美しく、皆の心の大切な故郷や思い出の場所となりますように、日々、努力していきたいと思えます。

皆様もどうか、いつまでも美しい尾瀬を未来の子供たちに受け継ぐことができるように、登山マナーはもちろん、温かな思いやりの気持ち忘れずに、尾瀬を楽しんでください。

御協力を、心よりよろしく願います。
(川上 藍)

* 現地駐在スタッフ紹介 *



▲ 笹原 宗利
(山の鼻ビジターセンター所長)



▲ 大泉 和寛



▲ 川上 藍



▲ 高堀 かな



▲ 山崎 悠登



▲ 宇野 翔太郎



▲ 阪路 善彦



▲ 森山 暢希



▲ 渡邊 章男
(檜枝岐事務所駐在員)
(尾瀬櫛の森ミュージアム勤務)

今シーズンも
よろしくお願ひします！

現地情報

おごじよだより

尾瀬沼周辺情報

尾瀬櫛の森ミュージアム

〜チヨット寄り道

してみませんか？

*1 尾瀬沼にあるの？

福島県檜枝岐村の御池入口にあり、檜枝岐村営御池ロッジに併設されています。



▲尾瀬櫛の森ミュージアム(外観)

*2 いつできたの？

平成7年(1995年)。
御池から尾瀬に入山される方々に、尾瀬の歴史と檜枝岐村の生活を紹介するために作られた施設です。

*3 開館日と開館時間は？

開館日は、5月23日〜10月20日。
開館時間は、午前8時〜午後4時。
入館無料です。

*4 館内の様子は？

入館前に靴の汚れを落としてから、「ゴミ」無い絨毯のフロアに足を踏み入れます。そこは二階で、インフォメーションカウンターと閲覧コーナーがあります。デスクに座って、尾瀬を紹介するDVDや尾瀬に関する書籍を閲覧できます。

展示フロアは一階になりますので、階段を下りながら壁に飾ってある昔の尾瀬沼の自然と生活の様子を垣間見ることが出来ます。(尾瀬開山の父・平野長蔵氏、尾瀬沼で戯れ泳ぐ人、沼山峠から望む大江尾瀬沼風景、等々)モノクロ写真が懐かしい時代を思い出させてくれます。

一階は、中央に縦二メートル横五メートルの尾瀬全体の地形の立体模型(ジオラマ)が置かれ、それを取り囲むように、十二のテーマでパネル展示をしています。

▼一階(展示フロア)の様子



- テーマ
- ① 尾瀬のなりたち
 - ② 湿原の移り変わり
 - ③ 尾瀬の心ゆみ
 - ④ 入山の心得
 - ⑤ 尾瀬を守る
 - ⑥ プナ平の自然
 - ⑦ 奥会津の山々
 - ⑧ 尾瀬の動物
 - ⑨ 尾瀬の花々
 - ⑩ 森の檢枝岐
 - ⑪ 檜枝岐村の歴史
 - ⑫ 尾瀬の四季

永い年月をかけて尾瀬沼・尾瀬ヶ原・湿原・燧ヶ岳・至仏山等が形成され、針葉樹や落葉樹の森ができ、特に広大なプナ林のおかげで水資源が豊富になり、生きとし生けるものに多くの恵みをもたらし、そこに暮らす人々の生活を潤し、更には微生物プランクトンが川を下り海に注ぎ、魚たちの栄養源となり、人々の食卓をも潤してくれました。そればかりでなく、心の癒しの場として四季折々に咲き誇る花々が人々を豊かな人間に育ててくれています。

館内の展示物に目を通したうえで尾瀬一帯に足を運ぶと、感動と愛しさと感謝の気持ちが一層深まるのではないのでしょうか。少しでも時間を割いて、ご家族連れやグループ、学校の自然教室・屋外授業等に当館を活用いただきたいと思えます。

大人も子供も、尾瀬全体の立体模型(ジオラマ)で自分の居る場所、これから行くところとする場所等、ボタンランプで楽しみながら確認することができます。

入山時・下山時、バスの待ち時間の、チヨット寄り道。きつと良い思い出のページになると思えます。

他に類のない立派な展示ルームですので、是非お立ち寄り下さいませ。

お声をかけて頂ければご案内解説もいたします。

*5 周辺には…

ミュージアム周辺には散策コースとして御池田代・スモウトリ田代・小沼田代・兔田代があり、四季折々の草花が大江湿原・尾瀬ヶ原に負けず劣らずに観賞できます。

(檜枝岐事務所駐在員)

(尾瀬櫛の森ミュージアム勤務) 渡邊(童男)

◆緊急情報◆◆◆

燧ヶ岳見晴新道の

通行禁止について

見晴新道は平成23年の会津豪雨災害のため登山道が荒れており、平成25年の台風18号により、土石流が発生して登山道が流失しました。

現在も斜面崩落や土石流発生の危険がありますが、当道、通行禁止となります。



▼太線部分が見晴新道(通行禁止区間)

【お問い合わせ先】

- 福島県生活環境部自然保護課 (TEL) 024-521-7251
- 檜枝岐村企画観光課 (TEL) 0241-75-2503

尾瀬ボランティア情報

このコーナーは尾瀬ボランティアに登録されている方のためのコーナーです。

●「尾瀬ボランティア講座」を実施しました

6月14日(土)～15日(日)に山ノ鼻・鳩待峠にて「尾瀬ボランティア講座」を実施し、6名の新人ボランティアが誕生しました。

現役ボランティアさんの協力を得ながら行った実地研修(ごみ拾い・入山口啓発活動)では、積極的に取り組む受講生の姿が頼もしく、今後の活躍が期待されます。ベテランのボランティアの皆さまにも、温かく仲間を迎えていただければ幸いです。



実地研修の様子

●沼山峠ボランティア詰所を設置しました



6月26日(木)、沼山峠の道路敷にボランティア詰所を設置しました。皆さまの活動の拠点として、ご利用ください。今年度はお話ボランティア活動の備品も、詰所内に用意しております。

●「檜枝岐事務所」の宿泊利用について

当財団檜枝岐事務所は、「老人憩いの家」から「旧森林管理署事務所」に移転しました。ボランティアの皆さまがボランティア活動をする際に宿泊できます。



檜枝岐事務所(外観)

〈移転場所について〉
檜枝岐村内、お食事処かどやの角を曲がり、前川橋を渡ってすぐ右手側の建物です。

※尾瀬ボランティアの皆さまには、利用条件等をまとめた別紙を添付しています。詳細については、こちらをご確認ください。

●群馬県が実施する「尾瀬入山口交通環境整備」へのご協力をお願い(大清水)

大清水口における低公害車両の試験運行に伴い、財団では大清水口での入山口啓発活動などにご協力をいただけるボランティアを募集します。詳細は左記のとおりです。

記

- 一 活動内容
- 群馬県が実施する「尾瀬入山口交通環境整備」に併せての、入山口啓発活動

※マナー啓発活動に加え、会津沼田街道の歴史などを説明することによって、登山者の理解を深めます。

二 活動場所

大清水

三 活動日時

(一) 活動日

7月12日～9月19日までの、土日祝日

(設定日は次のとおり)

7月

12・13・19・20・21・26・27日

8月

2・3・9・10・16・17・23・24・30・

31日

9月

6・7・13・14・15日

(二) 設定時間

① 前半(6時～12時)

② 後半(11時～17時)

四 募集人員

各日各回、一名程度

五 申込方法

ご協力をいただけるボランティアの方は、担当(峯岸・西嶋)までお申込ください。担当が事務局に不在の場合も多いため、FAXもしくはメールで連絡をいただけると助かります。

●FAX:027-220-4421

●MAIL:minegishi-k@oze-fnd.or.jp

トピックスTOPICS

六 その他

試験運行に関する調整については、土日祝日に現地に常駐する群馬県職員と相談してまいります。

※尾瀬入山口交通環境整備事業の詳細は、トピックスをご覧ください。

●尾瀬の入山口(大清水)で低公害車両の試験運行を実施します(群馬県からのお知らせ)

尾瀬では、特定の入山口への利用集中の緩和や、国立公園の回遊型・滞在型利用を促進するため、入山口の交通環境を見直すこととしており、この見直しの中で、大清水～一ノ瀬間での低公害車両の導入が検討されています。

平成23年～平成25年の低公害車両の実験運行の成果を生かすとともに、関係者間の協議をふまえ、平成26年度は左記のとおり70日間にわたり試験運行を実施します。

(平成26年度尾瀬入山口交通環境整備事業)

記

一 期間

平成26年7月12日(土)～9月19日(金)

二 場所

大清水口

三 内容

- ①区間：大清水～一ノ瀬 (約3km)
- ②時間：大清水4時20分発～一ノ瀬16時発
- ③車両：低公害車両(8人乗り) 2～3台
- ④所要時間：片道 約20分程度
- ⑤運賃：無料
- ⑥頻度：随時
(混雑状況によりご乗車できない場合もあります。お問い合わせください。)

四 その他(鳩待峠口について)

静かで落ち着いた入山口をめざし、将来的には、入山口に面した第1駐車場を閉鎖して、車両の乗り入れは第2駐車場までとする予定のため、第2駐車場の拡張整備を実施します。
(事業主体：東京パワーテクノロジー株式会社)

【問い合わせ先】

●群馬県環境森林部自然環境課尾瀬保全推進室
TEL:027-226-2881

●尾瀬自然ガイド検定試験を実施します

尾瀬ガイド協会(事務局：尾瀬保護財団)では、平成26年度の尾瀬自然ガイド検定試験の受験者を募集中です。

8月に行われる筆記試験(1次試験)と10月に行われる実技試験(2次試験)に合格すると「尾瀬自然ガイド」として認定されます。

筆記試験の申し込みは7月31日(木)までとなっております。詳しい募集要項は尾瀬ガイド協会のホームページ(<http://www.ozeguide.net/>)をご覧ください。

尾瀬の自然が大好きで、ガイドとして活動してみたい、とお考えの方はぜひ受験をご検討ください。

【問い合わせ先】

●尾瀬ガイド協会事務局(尾瀬保護財団)
TEL:027-220-4431(担当：長谷川)

※認定ガイドとして活動するためには、尾瀬ガイド協会加盟のガイド団体に所属する必要があります。尾瀬保護財団もガイド団体のひとつですが、所属するためには「尾瀬自然解説ガイド」への登録が必要となります。ご不明な点はお問い合わせください。





寄付のお願い

尾瀬保護財団では広く寄付をお願いしております。

当財団は、尾瀬国立公園において、利用者に対し自然への理解を深めるための解説活動や、適正な利用に関する普及啓発を実施するとともに、各種の環境保全対策や施設の管理運営等を行ない、尾瀬の優れた自然環境の保全に寄与する活動を続けております。

◆個人住民税の寄付金控除の対象に尾瀬保護財団が指定されました。

個人住民税の寄付金税制の拡充により、各都道府県・市区町村が条例で指定した法人に対する寄付が、住民税の控除対象となるようになりました。尾瀬保護財団は下記の県・市・町から指定を受けています。(財団への寄付を行った翌年1月1日にこれらの県・市・町にお住まいの個人が対象となります。)

福島県、群馬県にお住まいの方：個人県民税

福島県富岡町、群馬県前橋市、群馬県高崎市、群馬県桐生市にお住まいの方：個人県民税と個人市民税・町民税

◆また、尾瀬保護財団は「公益財団法人」に認定されており、当財団への寄付は所得税・法人税の優遇措置を受けることができます。

※なお、所得税、住民税控除の対象となる方には、領収書の送付時にご案内資料等をお送りします。

◆企業・団体の皆様とより良いパートナーシップを築けるよう、特別協賛寄付、協賛寄付の制度があります。詳細は財団事務局（群馬県庁17階・027-220-4431）にお問い合わせください。

■寄付につきましては、財団事務局（群馬県庁17階・027-220-4431）にご来訪いただくか、財団にご連絡の上、下記口座にお振込をお願いいたします。

福島県	東邦銀行県庁支店	普通	1078095
	福島銀行本店営業部	普通	0590088
	大東銀行福島支店	普通	1287138
群馬県	群馬銀行県庁支店	普通	0515428
	東和銀行本店営業部	普通	0975531

新潟県	第四銀行県庁支店	普通	1182791
	北越銀行県庁支店	普通	0199366
	大光銀行新潟支店	普通	0837334

特別協賛寄付者のご紹介

※寄付日付順、敬称略

尾瀬紀行

尾瀬紀行（信託ファンド）で収受した信託報酬の一部として総額539万円余りをご寄付いただきました。平成19年より今回が8回目のご寄付となります。(通算寄付総額50,583,957円)



2014年6月11日寄付

DIAMアセットマネジメント株式会社 今年度は269万円余りをご寄付いただきました。(通算寄付総額 25,291,979円)

寄付者からのメッセージ：尾瀬の美しく貴重な自然を後世に受け継ぐために今回の寄付金が有効に活用され、環境保全の一助となることを期待しております。DIAMはこれからも金融の仕組みを通じて、社会に貢献する資産運用会社を目指します。



2014年6月11日寄付

株式会社東邦銀行 今年度は94万円余りをご寄付いただきました。(通算寄付総額 8,975,569円)

寄付者からのメッセージ：尾瀬の自然環境を後世まで末永く守り続けることを目的として、当ファンドの販売・運用を通じて地域社会の発展に貢献するとともに、広く尾瀬の自然を愛する皆様と共に力を尽くしていく所存であります。今後とも積極的にCSR（企業の社会的責任）を重視して取り組んで参ります。



2014年6月10日寄付

株式会社群馬銀行 今年度は120万円余りをご寄付いただきました。(財団設立当初からの寄付を含め、通算寄付総額 27,322,504円)

寄付者からのメッセージ：信託報酬の一部が尾瀬保護財団への寄付となる仕組みの投資信託を取扱っており、多くのお客さまの善意の集大成を寄付させて頂きました。趣旨にご賛同頂き投資信託をご購入頂いた全てのお客さまに深く感謝いたします。



2013年7月10日寄付

株式会社第四銀行 平成25年度は45万円余りをご寄付いただきました。(通算寄付総額 5,013,756円)

寄付者からのメッセージ：尾瀬の自然環境を後世まで末永く守り続けるため、今回の寄付金が有効に活用されることを期待しております。第四銀行はこれからも尾瀬の自然環境保護を支援すると共に、地域社会の発展に貢献してまいります。



2013年7月10日寄付

新潟証券株式会社 平成25年度は6万円余りをご寄付いただきました。(通算寄付総額 1,542,229円)

寄付者からのメッセージ：尾瀬の自然環境を後世まで末永く守り続けるために今回の寄付金が有効に活用されることを期待しております。新潟証券は第四銀行グループとして、これからも尾瀬の自然環境保護を支援すると共に、地域社会の発展に貢献してまいります。



2014年5月16日寄付

株式会社福島銀行

平成24年11月に発売された「ふくぎんエコ定期『みんなの尾瀬』」の平成26年3月末現在残高の0.01%に相当する、797万円余のご寄付をいただきました。(通算寄付総額 16,536,564円)

寄付者からのメッセージ：福島銀行は、中期経営計画「ふくぎん本気（マジ）宣言」の基本方針の中で、社会貢献の取組強化を掲げております。「ふくぎんエコ定期『みんなの尾瀬』」では、お預け入れ頂いた同預金の年度未残高の0.01%相当額を尾瀬保護財団へ寄付させて頂いており、趣旨にご賛同頂いた多数のお客様より永年ご支持を頂いております。かけがえのない尾瀬の自然を守るため、福島銀行はお客様と共に、これからも積極的に保護活動に取組んで参ります。



2014年3月31日寄付

株式会社 明治

（株）明治様の群馬工場で使用される水の水源でもある、尾瀬の自然環境を後世まで守り、次代に繋げていくことで、社会そして子どもたちの未来に役立てていただきたいとの想いで、30万円のご寄付をいただきました。今回を含めて今後3年間に渡りご寄付をいただくこととなっています。(通算寄付総額 300,000円)

寄付者からのメッセージ：（株）明治は、自らの事業が豊かな自然の恵みの上に成り立っていることを認識し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。その一環として、尾瀬の貴重な自然環境が守られるための保全活動の一助になる事を期待し、寄付させて頂きました。今回の寄付金が有効に活用され、尾瀬の美しい自然環境が未来へ引き継がれていく事を願い、支援を継続してまいります。



2014年2月4日寄付

公益財団法人コメリ緑育成財団

コメリ緑育成財団様からのご寄付は、前身のコメリ緑資金の会様からのご寄付と合わせて、今回で5回目のご寄付となります。来年度もご寄付をいただくこととなっています。(通算寄付総額 2,500,000円)

寄付者からのメッセージ：当財団は、（株）コメリの利益の1%還元事業として1990年に設立した「コメリ緑資金」による緑豊かなふるさとづくりへの助成事業を引き継ぎ、2012年に公益財団として新たにスタートしました。私たちの住むふるさとが花や緑にあふれ平和で豊かであってほしいと願い、豊かな自然環境づくりや園芸農業分野における技術開発などへの助成を行っています。未来の子どもたちのために、尾瀬の美しい自然と豊かな生態系がいつまでも引き継がれていくことを願っています。



2014年1月31日寄付

アサヒビール(株)群馬支社

47都道府県において、アサヒスーパードライ缶、ビン及びスーパードライドラック缶1本あたり1円を各都道府県の売上に応じて、環境関連等の団体に寄付するもので、平成25年秋の第7弾キャンペーンにより241万円余のご寄付をいただきました。(通算寄付総額 25,590,821円)

寄付者からのメッセージ：アサヒビール(株)群馬支社では、地域との共生や地域貢献を目標に掲げ、2009年春より、アサヒスーパードライ「うまい！を明日へ！プロジェクト『尾瀬の環境保全活動』」をスタート。売上の一部を尾瀬保護財団へ寄付させて頂いております。より多くの県民の皆様にも主眼を知っていただき、また、賛同いただくことで、県民の皆様とともに群馬県の環境保全を進めていきたいと考えています。群馬県の子供たちの未来のために、お役立ていただけたら幸いです。

協賛寄付者のご紹介

※寄付日付順、敬称略

株式会社読売旅行
2014年5月1日寄付

当財団の設立の趣旨と活動内容に賛同していただき、10万円のご寄付をいただきました。今回を含めて今後3年間に渡りご寄付をいただくこととなっています。(通算寄付総額 100,000円)

株式会社
コシダカホールディングス
2014年3月31日寄付

当財団の設立の趣旨と活動内容に賛同していただき、30万円のご寄付をいただきました。(通算寄付総額 300,000円)

水上高原リゾート
株式会社
2014年2月25日寄付

水上より坤六峠を越えて尾瀬に入るツアーを同社が経営されているホテル（水上高原ホテル200）で実施されており、その収益の一部として30万円のご寄付をいただきました。同社からのご寄付は、今回で3回目となります。(通算寄付総額 840,000円)

株式会社とりせん
2014年2月10日寄付

当財団の自然保護活動に活用していただきたいとのことで、10万円のご寄付をいただきました。株式会社とりせん様からは、平成21年に株式会社とりせん創立60周年を記念して、環境関係に寄付するという事で社員の皆様から募金をしていただき、ご寄付をいただきました。同社からのご寄付は今回が2回目で、今回を含めて今後3年間にわたり継続してご寄付をいただくこととなっております。(通算寄付総額 1,158,391円)

エース株式会社
2014年2月5日寄付

エース株式会社様の尾瀬関連商品の売上の一部（10万円）をCSRの一環として当財団にご寄付いただきました。同社からのご寄付は今回が4回目で、今回を含めて今後新たに3年間に渡りご寄付をいただくこととなっています。(通算寄付総額 1,000,000円)

株式会社フレッセイ
2013年9月30日寄付

フレッセイとキリンビバレッジでエコ基金を創設し、フレッセイの各店舗で販売されたキリンビバレッジの対象商品の売り上げ1本につき0.5円（両社で0.25円ずつ負担）をエコ基金に積み立て、その積立金を尾瀬の自然環境保護のため、27万円余りをご寄付いただきました。エコ基金からの寄付は、今回で4回目となります。(通算寄付総額 1,637,197円)

キリンビバレッジ
株式会社
2013年9月30日寄付

フレッセイとキリンビバレッジでエコ基金を創設し、フレッセイの各店舗で販売されたキリンビバレッジの対象商品の売り上げ1本につき0.5円（両社で0.25円ずつ負担）をエコ基金に積み立て、その積立金を尾瀬の自然環境保護のため、27万円余りをご寄付いただきました。エコ基金からの寄付は、今回で4回目となります。(通算寄付総額 1,430,460円)

株式会社ニチネン
2013年7月12日寄付

株式会社ニチネン様が片品村の尾瀬工場（平成19年4月に設立）で生産し、販売するミネラルウォーター「尾瀬の湧き水」の収益の一部を、尾瀬の自然環境保全のために役立てて欲しいと、ご寄付をいただきました。平成19年度から毎年ご寄付をいただき、今回で7回目となります。

一般財団法人
群馬県警察厚生会
2013年6月20日寄付

当財団の設立の趣旨と活動内容に賛同していただき、尾瀬の美しい自然が後世の人々に引き継がれるよう活動に役立てて欲しいと、ご寄付をいただきました。平成23年度から毎年ご寄付をいただき、今回で3回目となります。(通算寄付総額 300,000円)

その他の寄付者のご紹介

※五十音順、敬称略

株式会社いせやコーポレーション、今井隆一、上野原ふるさと自然観察会、魚沼市立入広瀬小学校5年生、NHK「わたしの尾瀬」実行委員会、大内莊久、太田憲治郎、共和工業株式会社、栗林恒雄、株式会社群馬テレビエンタープライズ、群馬トヨタ自動車株式会社、公孫会北魚支部会員一同、古賀円、小林帥男、酒井一夫、鈴木輝夫、関本昇、大全電機株式会社、東京パワーテクノロジー株式会社尾瀬林業事業所、戸所英俊、早川廣義、福島銀行共栄会、藤生宗平、堀木紀美子、村山盛繁、山口栄一、吉浦英和、吉田純一

ヒツジグサ (7月~9月)

開花時刻が、昔の刻限の未の刻だから、ヒツジグサと名がついたと説明される。未の刻は今の午後2時前後、本当だろうか、疑ったことがあるだろう。

実際に観察すると、午前10時頃にぼつぼつと花が見られるようになり、未の刻頃が花盛りで、水面で華やかに揺れている。そして午後4時頃には閉じ始める。未の刻が花盛りなのでヒツジグサと呼ぶのだろう。

本には、時々実際と違うことが書かれている。尾瀬で活動しながら、そんな誤りを発見するのも楽しい。

(フラワーエコロジスト 田中 肇)



イベント情報 ◆◆◆

第18回NHK「わたしの尾瀬」写真展

【長岡展】

- 開催期間 平成26年7月5日(土)~15日(火)
午前10時~午後4時30分
(期間中無休)
- 会場 道の駅良寛の里わしま「和らぎ家」
(新潟県長岡市島崎5551)

【魚沼展】

- 開催期間 平成26年7月19日(土)~27日(日)
午前9時~午後5時
(期間中無休)
- 会場 魚沼市地域振興センター(道の駅「ゆのたに」隣)
(新潟県魚沼市吉田1144)

「友の会」コーナー

「友の会」は豊かな尾瀬の自然を守る財団の活動を支援して下さる方々の集まりです。

※ 加入・更新時期が年4回 (5月・8月・11月・2月) になりました

11月1日からの加入・更新をご希望の方は9月30日までに会費の納入をお願いします。

【年会費】

個人	個人会員	1口	2,000円
	家族会員 (個人会員と同居の家族)	1口	1,500円
	ユース会員 (3/31現在、満22歳以下)	1口	1,500円
賛助	賛助会員 (団体・企業等)	1口	10,000円
	特別賛助会員 (団体・企業等)	1口	100,000円

【特典について】

※友の会に加入された方には、以下の特典を提供させていただきます。

- ・友の会会員バッジ進呈、各種資料送付 (初回加入時のみ)
- ・財団機関誌：配付 (平成26年度は年3回発行予定)
- ・宿泊割引：尾瀬戸倉、檜枝岐村周辺宿泊割引
(休日、祝祭日前等の除外日があります。)
- ・尾瀬周辺施設利用料割引：対象施設等の詳細は

財団ホームページでご確認ください。

<http://www.oze-fnd.or.jp>

※ 特別賛助会員枠を新設しました

●●● 編集後記 ●●●

2014年の尾瀬シーズンが始まりました。初夏を迎え、可憐な花々が湿原を華やかに彩り、訪れた人の目を楽しませてくれます。その陰では、安全登山と環境保全のため、ガイドさん・ボランティアさんが雪掻きや清掃等の登山道整備に尽力してくださっています。「みんなの尾瀬を みんなで守り みんなで楽しむ」心を忘れずに、皆さまが今シーズンも素敵な尾瀬に出会えますように。財団の一員として、私自身も努力してまいります。(峯岸)



oze mobile

携帯サイト

お知らせ
緊急情報
ライブ映像
など
情報配信中

ツイッター

尾瀬情報
配信中

